

財団法人生存科学研究所

平成 22 年度事業計画

I. (全般について)

財団法人生存科学研究所は、理念に基づき、人間の生存に関わる諸問題をグローバルな観点から調査研究することを目的としている。

本研究所はこれら目的を発展深化させるために大別して 2 種類の研究事業を実施する。

第 1 は人間の心身健康的な生存秩序を確保するために、人間のライフサイクルと社会環境を通じての総合的な研究としての自主研究である。

第 2 は人類の心身健康の維持と増進とそれを取りまく健全な社会の構築のための基礎的また応用的研究としての委託研究である。

本年度は自主研究については、生存科学の理念にかなった内容を主体とした課題を会員に公募し、採択された 11 課題を実施する。

委託研究については、テーマは①司法精神医学に関する研究と②心臓・血管の基礎および臨床研究を外部に公募し、総計 12 件を採択して実施する。

さらに本年度も日本川崎病センターとの共同研究を継続実施する。

II. (事業面について)

各事業は相互に連携しつつ、本財団の理念である「生存科学」における総合的生存モデル及び総合的健康政策を確立していくための学際的学問を形成していくことを主体とするとともに、心身健康と環境面から健全な社会の構築のために貢献するものである。各事業とそれに属する研究テーマは事業一覧（表 1）に表示する。また、調査研究項目別予算額は表 2 に表示する。

III. (運営について)

公益信託武見記念生存科学研究基金（以下「基金」という）との有機的な連携は、協議により定められる責任と分担範囲にもとづき、総合性を高め、着実な運営を図っていくこととする。研究内容上以下の研究については基金、財団の共同研究となる。

(1) 学術誌の刊行

(2) 生存科学ニュース

予算の一部は、基金からの広報作成分担金収入を受け入れることによって行われたこともあるが、基金の財政状況は依然として厳しいために金銭的な協力は望めないが、共同研究体制は今後も持続させる。

以上により生存科学研究所の新たな展開と、より一層の広報普及活動を行っていくこととしたい。